

## 不祥事根絶のための行動計画

廿日市市立佐方小学校  
校長 谷本 直子

【教育の原点】

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)  
子ども達は私たちの姿を見て育ちます

使命 私たちは、子ども達を守り、育てます。  
公正 私たちは、不祥事を許しません。

遵守 私たちは、法令を遵守します。  
公開 私たちは、地域に開かれた学校にします。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○不祥事の事例に対する危機意識・自己認識をさらに高める必要がある。 ○個人情報の管理の徹底が必要である。 ○交通安全に関する意識をさらに高くもつ必要がある。	○服務研修の方法や内容等を見直し、当事者意識を高める。 ○児童に対する不適切な指導を根絶する。 ○個人情報の取扱いについて、常に配慮する。 ○交通事故・交通違反をしない。	○「教育の原点」を徹底する。 ○不祥事につながることが予想されるヒヤリ・ハット事案を教職員間で共有する。 ○児童に対する言動や個人情報の取り扱いについて、定期的に振り返りを行う。 ○机上の整理整頓を行う。 ○交通安全週間等を利用し、安全運転の周知・徹底を図る。	○チェックリスト等を活用し評価する。 ○毎月、不祥事防止委員会で研修内容について評価する。 ○暮会や部会、学年会等で状況の確認をする。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○共通に取り組もうと確認したことが、徹底されていないことがある。教職員間で取組に温度差がある。 ○不祥事防止に係る研修時間の確保が難しい。 ○まだまだ時間外勤務時間が多く、業務改善に努める必要がある。	○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようとする。 ○前項の取組は確実に実施する。 ○ワーク・ライフ・バランスを見直すよう呼びかけ、時間外勤務時間を削減する。	○学年会や分掌部会等で互いの仕事の進捗状況を確認する。 ○ボトムアップで、職員の建設的なアイディアやつぶやきを大切にする職場環境を醸成する。 ○前例にとらわれず、業務改善を実行する。 ○休日には趣味を楽しんで、リフレッシュするよう促す。	○毎月、不祥事防止委員会で、計画に基づく研修の進捗状況を評価する。 ○毎月、衛生委員会で職員の時間外勤務時間の状況を把握し、健康状況の確認を行う。
相談体制の充実	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント、その他教育相談窓口」の周知が年度当初のみであり、形骸化している。	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント、その他教育相談窓口」の周知を繰り返し行うとともに、気軽に相談しやすい体制をつくる。	○学校だよりやHPで保護者等に周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 ○個人面談期間や懇談会など、児童・保護者が相談しやすい体制をつくる。	○年に2回、児童、保護者を対象にアンケートを実施する。 ○企画委員会で情報共有・意見交換を行う。